



生長点付近の葉がまだらに黄化



果実の奇形

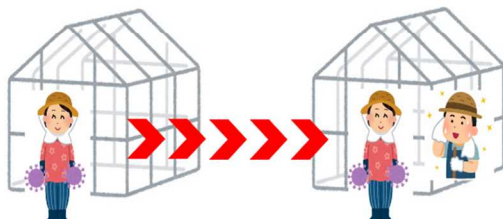
ピーマンモザイク病（ウイルス） 感染拡大防止にご協力を！

ピーマンモザイク病（ウイルス）の感染要因で最も多いものは、**接触伝染**によるものです。
ウイルスを含む汁液が手や作業服に付着し、ピーマンに接触することで感染します。

《接触伝染による感染経路の例》

A氏ハウス（感染）

B氏ハウス（未感染）



A氏は、摘芯（ピンチ）・誘引作業をした後、
手洗い・作業服の交換をせず、B氏のハウス
に入り作業を手伝った。
その結果、B氏のハウスも感染した。



注意！
ウイルスが手や作業服に
付着していますよ！



作業後は、石けんで手を洗いましょう。
作業服の着替えをしましょう。



一人一人の心掛けが、感染拡大防止に繋がります。

- 作業時の注意点（手袋・ハサミの使い回し、摘芯（ピンチ）・誘引・収穫等）
- 作業後の手洗い
- 作業服の交換・洗濯
- 農業資材・器具の洗浄（支柱、コンテナ、薬剤噴霧器等）

鹿島・神栖地域ピーマン産地代表者会議事務局

■なめがたしおさい農業協同組合
 鹿島営農経済センター ☎0299-69-0080
 神栖営農経済センター ☎0299-92-0508
 波崎営農経済センター ☎0479-48-7755

しおさい地域センター ☎0299-93-5527
 須田資材センター ☎0479-46-0005

■鹿行農林事務所経営・普及部門
 地域普及第二課 ☎0291-33-6198
 鹿島地帯特産指導所駐在 ☎0299-92-3638



正しい対応で農家の経営を守る！ ピーマンモザイク病（ウイルス）防除対策

ピーマンモザイク病は、ピーマンやパプリカ、トウガラシに感染するウイルス病の一つです。

接触伝染や土壌伝染により感染する病気で、発病すると生長点付近の葉がまだらに黄化するのが特徴で、進行すると果実が変形し収量が減少します。

感染してしまった場合の対応策として、土壌中のウイルス濃度が下がるまでは、健全ハウスも含めた全ハウスで、抵抗性を持つL4品種に切り替える必要があります。

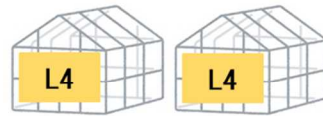


打破防止のために、L4品種を適正に利用しましょう！

～押さえておきたい3つのポイント～

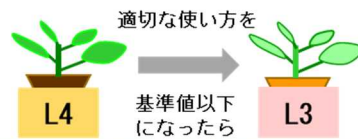
《L4品種とL3品種を混植しない》

ウイルス濃度が基準値以上の場合は、**全てのハウス・作型でL4品種に切り替える必要があります。**



《土壌中のウイルス濃度が基準値以下になったら、L3品種に戻す（L4品種を植え続けない）》

予防的にL4品種を植えないようにしましょう。打破されるリスクが高まります。



《抑制作型ではなるべく「紙包み法」で定植する》

ちり紙などを用い、定植時に根が土壌に触れないようにして定植する方法です。過敏感反応によって株が枯死するリスクを低減します。



《重要》

L4品種の抵抗性が打破された場合、モザイク病の防除方法はなくなります。

L4品種の不適切な利用は、抵抗性打破のリスクを高めます。

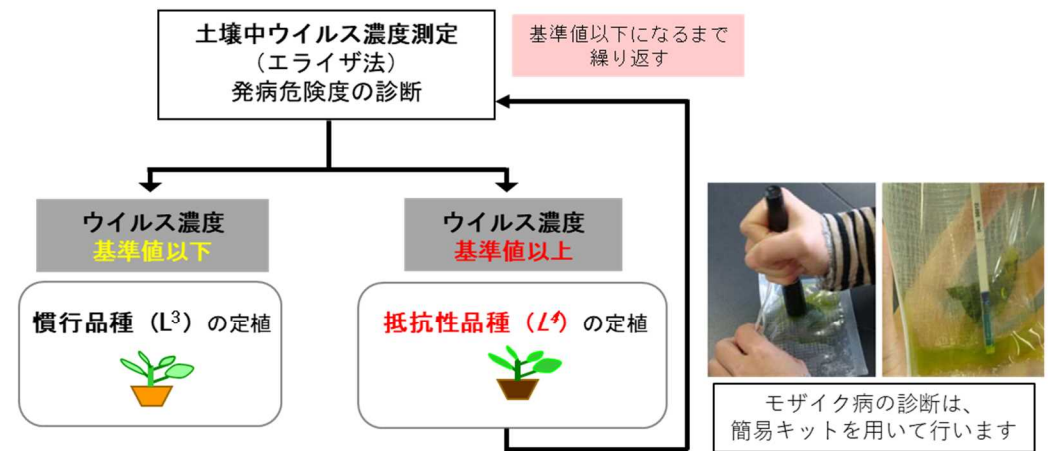
そのため、L4品種を適切に利用する必要があります。



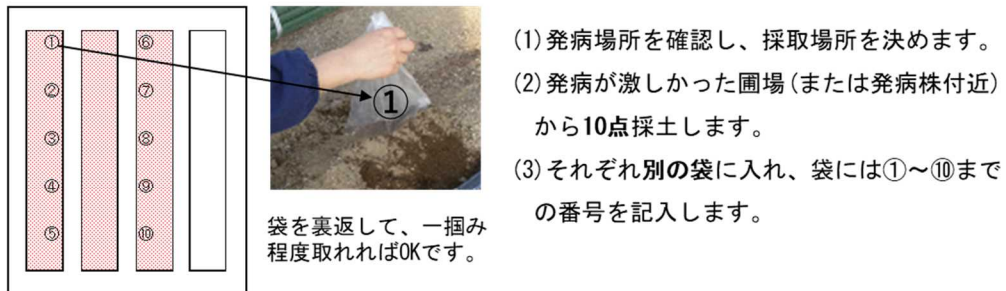
抵抗性品種L4とは？

抵抗性品種は、ウイルスが植物体に感染できず、増殖することがありません。その結果、発病圃場でL4品種を一定期間栽培することで、土壌中のウイルス濃度が低下します。

《モザイク病が発病した場合 次作の対応（診断～対策までの流れ）》

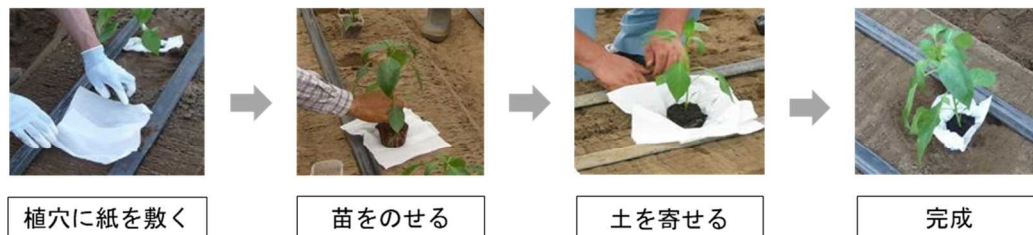


《エライザ用の土壌採取の方法について》



《紙包み法を活用し、ウイルスの侵入を防止！》

紙包み法による定植は、根を傷つけず、傷口からウイルスが侵入することを防いでくれます。定植後の管理として、乾燥しやすいため、根回しかん水が効果的です。



モザイク病の診断に関するご相談先

■なめがたしおさい農業協同組合
 鹿島営農経済センター ☎0299-69-0080
 神栖営農経済センター ☎0299-92-0508
 波崎営農経済センター ☎0479-48-7755
 しおさい地域センター ☎0299-93-5527
 須田資材センター ☎0479-46-0005

■鹿行農林事務所経営・普及部門
 地域普及第二課 ☎0291-33-6198
 鹿島地帯特産指導所駐在 ☎0299-92-3638

疑わしい株がございましたら、ご相談ください。

鉾田普及センター（成長産業）